京城日報
朝刊

天皇陛下 伊勢神宮に御參拜

曠古の大戰果を御奉告
皇祖神靈の御加護を祈らせ給ふ

天皇陛下には去る十二日親しく伊勢神宮に御拜あらせられたが十三日午後五時告示を以て次の如く宮內省より發表された

宮內省告示第二十九號

天皇陛下神宮御參拜の爲本月十一日御發輦、京都府下並三重縣下へ行幸、今十三日還幸あらせられたり

昭和十七年十二月十三日　宮內大臣 松平恒雄

有史以來未曾有の御盛儀
玉音いと御嚴かに御告文
蒼生の感激こゝに極まる

【山田電話】長くも　天皇陛下には振古未曾有の大戰果、日夜帷幄の機務に御勞あらせらると承るが、十二日親しく鑾駕を伊勢路に進めさせられ神宮の大御前に恭しく御拜、皇軍勇戰の燦たる戰果を御奉告、さらに時難克服聖戰完遂を祈らせられ神威を御奉讃、皇祖神靈の御加護を深く御祈念あらせれた有史以來の御盛事と承るが洵に畏き極みである、まこと征戰必勝の畏き大御心を拜しわれら蒼生の感激もまたこゝに極まつたのである、神宮御親拜の十二日朝御久しぶりに京都皇宮に御安らけき御駐輦第一夜を明けさせ給ひし　天皇陛下には畏くも早朝御起床御日拜、御潔齋の御のち陛下御軍裝の御英姿神々しく大勲位副章以下各種勲章、記章を御佩用、百武侍從長陪乘申上げ松平宮相、木戸內府、蓮沼侍從武官長以下供奉の略式自動車鹵簿にて午前六時四十五分京都皇宮御出門、沿道堵列の民草の奉拜をうけさせられて京都驛御着、宮廷列車に召させられて光榮に輝く伊勢路を一路山田驛に向はせられた、この朝瑞氣滿ちわたる宇治山田市では御道筋に奉拜する民草の感激は極まりなく森嚴の氣一入神々しき神宮では豫て臨時祭主宮殿下をはじめ奉り高倉大宮司以下禰宜、權禰宜など早朝より外宮內宮の御前に奉仕して大御饌供進の儀が行はれさらに　天皇陛下より御供進の幣物を奉奠終つて清白の御祭服を召させられた梨本臨時祭主宮殿下をはじめ奉り、祭服に威儀を正した高倉大宮司以下諸從それ〴〵所定の位置につき慄然と着御を御待ち申上げた、かくて御召列車は沿道民草の奉拜裡に同十時山田驛御着輦　陛下には驛前より再び自動車に召させられて外宮行在所に向はせられ同行在所にて御軍裝に御召替へ遊ばされ森嚴の禰宜二名御先行申上げ御自動車にて同十時三十五分行在所出御、千古の老杉生ひ茂る御道筋を進ませ給ひ板垣御門外にて御降車それより玉砂利々と進御、外玉垣御門前にて禰宜の奉る大麻、御鹽にて御修祓、內玉垣御門內にて小出、戸田兩侍從奉仕し御手を清めさせられ、こゝよりは百武侍從長、ただ一人供奉申上げて瑞垣御門內正殿の大前御階下の御拜座に着御、恭しく御拜の御のち畏くも御告文を奏させ給ひ、殿町掌典の奉る御玉串を御手に恭しく御拜禮あらせられた、かくて陛下には一旦行在所に入御、同十一時六分內宮行在所に向はせられ沿道に奉拜する民草の感激いや昂まる裡に水清く流れも絶ゆることなき五十鈴川にかゝる宇治橋を渡御、同十一時廿六分內宮行在所に着御あらせられた、こゝにて御晝餐を食召され再び御潔齋の御のち午後一時六分同所御發在御、兩禰宜御先行の特別御列肅々と同一時十三分內宮板垣御門外に着御、玉車を出でさせ給ひ小倉侍從御先導申上げ玉砂利を大宮御域內に進ませ給ひ外玉垣御門外において松木、富岡兩禰宜大麻、御鹽を奉仕御修祓、內玉垣御門內にて小出、入江兩侍從奉仕申上げて御手洗の御のち殿町掌典御先導申上げ御告文を納め參らせた御箱を捧持する百武侍從長ただ一人を隨へさせられて瑞垣御門より正殿御階下の御拜座へ進御あらせられた千古の靜寂ただ神々しきばかりなるうちに　陛下には恭しく御拜、百武侍從長恐懼御告文を奉れば玉音いと高らかに御告文を奏せられ振古未曾有の大戰果を親しく皇祖の大御前に御奉告、神慮の深きを御奉謝御加護を祈はせられたと拜承する、ついで大宮司の奉る瑞榊に木綿を垂れた御玉串を殿町掌典を經て御手にとらせられ親しく御拜あらせられた、この時御神威いよ〳〵嚴かに神域は海底の如く靜まり梨本臨時祭主宮殿下をはじめ奉り諸員は伏し侍從長は最敬禮にて奉仕した、瑞垣御門外の松平宮相、木戸內府、東條首相以下諸員また恐懼感激のうちに最敬禮、限りなく尊く神秘とも拜され御拜儀の一刻であつた、御玉串は梨本臨時祭主宮殿下が捧持させられて階をのぼらせられ大床に御奉進、殿內案上に奉らせられ至高の御儀を終へさせられた　天皇陛下には一旦內宮行在所に入らせられ御少憩ののち同一時四十五分行在所發御、山田驛に向はせられ、同二時五分再び宮廷列車に召させられ諸員の奉送裡に山田驛御發輦、同五時五分京都驛御着輦、天機殊のほか御麗しく京都皇宮に入らせられた

京都皇宮に御駐輦
奉拜の民草感涙に咽ぶ

【京都電話】長くも　天皇陛下には大東亞戰下親しく神宮に御參拜の御ため去る十一日午後四時十分京都驛御着、御三年振りに京都皇宮に御駐輦あらせられ給うた、この日京都は見晴かす北山の新雪も瑞光を浴びて一際照り輝き塵一つとゞめぬほど清められた御道筋は畏き行幸の御ことを洩れ承つた國民學校、中等學校その他の諸學校をはじめ一般民草に埋め盡され感激を御待ち申上げるなかを　天皇陛下には瀝陰に映ゆる御召自動車に御乘御、百武侍從長御陪乘、松平宮相、木戸內府、東條總理など供奉の諸員を從へさせられて驛前廣場から烏丸通を京都皇宮へと略式自動車鹵簿を進めさせ給うた、今し眼の邊り聖駕を拜し、奉拜の民草は地にひれ伏して感涙に咽んだのであつた、また東本願寺前では法衣に身を纏つた大谷光暢法主が裏方をはじめ一山の衆僧とともに奉拜申上げ御駐輦を祝ひ奉つた

した感激は古都を包み御在泊の三日間民草はたゞひたすら玉體の御安泰を祈り奉り行在所の御門前は霜おく深夜にも御所を拜して玉體の御安泰を祈り奉る民草の姿も見られた、殊に十二日夕神宮御參拜を終へさせられて還幸の御砌り御召自動車より擧手の御會釋をさへ賜ひ奉拜の民草はたゞ〳〵有難さに恐懼感激、ひたすらに聖戰に應へ奉り聖戰完遂の決意を固く誓ふ

聖恩の萬一に副ひ奉らん
首相謹話

【東京電話】天皇陛下神宮御親拜の行幸に供奉した東條首相は感激して左の通り謹話した

長くも　天皇陛下におかせられてはさきに宣戰の大詔を渙發あらせ給ふや宮中において御親祭あらせられ、また神宮をはじめ奉り全國の官國幣社に勅使を御差遣あらせられて奉告祭を執り行はしめられたのである、しかるにこの度畏くも聖駕を西に進め給ひ親しく神宮に御參拜あらせられ特に皇祖大神の大御前に御親ら御告文を奏せられ御拜あらせ給う次第である、國家の重大時に際し神宮へ勅使を御差遣あそばされて御奉告あらせられ神助を仰がせ給ふことは古來の御例と洩れ承るが、今回のごとく聖戰の途中において神宮に行幸あらせられ親しく皇祖大神の大御前に御拜あらせられました御事は全く有史以來いまだかつてこれあらざる御事と拜察致しをる次第であります、謹みて惟みるに今回の御參拜は開戰以來まさに一ケ年陸に海に空に曠古の大戰果を收めたるを御奉告あらせられ御恩の誠を致させ給ひ、かつこの戰局いよ〳〵重大の秋に當り御親ら御躬をもつて民を率ゐさせ給ふとゝもにさらに皇祖神靈の御加護を祈らせらるゝ深き叡慮に出でさせられたる御事と拜察し奉りまことに畏き極みであります、私は內閣總理大臣として時旨をもつてこの度の行幸に供奉を仰付られ神宮御參拜の盛儀を目のあたりに拜するの光榮を得て眞に恐懼感激に堪へませぬ、不肖ながら粉骨碎身さらに一層御奉公の誠を竭しもつて宸襟を安んじ奉ることを深く固く期してある次第であります、今や大東亞戰爭第二年に當り畏くも有史以來未曾有の御參拜を拜するのであります、こゝにわれら一億國民は現時局のいかに重大なるかに思ひを致すとゝもにこの有難き國體の眞姿を仰ぎ見てたゞ〳〵感奮興起するのみであります、このうへはわれら一億國民いよ〳〵一心同體一切をあげて國家の總力を大東亞戰爭完遂の一點に集中しもつて聖恩の萬一に副ひ奉らんことを期さねばならないのであります

一億一心總力發揮へ
首相謹話

天皇陛下におかせられては今や重大事の秋にも拘らせられず特に今回の行幸を仰出されましたることはまことに恐懼感激に堪へざるところであります、謹みて拜しまするに　陛下の神事を重んじさせ給ふ大御心の深厚にましますことは茲に更めて申すまでもなく宵衣旰食の御禁闕の裡にあらせられても宮中の祭祀は常に御親祭御親拜あらせられて國運の隆昌と國民の康寧とを御祈念あらせ給うたのであります、大東亞戰爭の勃發に當りては賢所、皇靈殿、神殿には畏くも御告文の御朗讀をもつて、神宮には勅使を御差遣あらせられて宣戰を御奉告、國威の宣揚を祈らせ給うたのでありますが、今や親しく神宮に御參拜皇祖の大御前で御告文を奏せられて開戰以來の赫々たる戰果を謝し給ふとともに現下の難局を克服し征戰の目的を達成して東亞の安定を確保しもつて祖宗の遺烈に對へ奉るべく皇祖神靈の御加護を御祈願あらせ給うたのであります、戰局の前途は尚ほ遼遠にしてさらに幾多の苦難を覺悟せざるべからざるは當然のことといはねばなりません、冀くば全國民相率ゐて大御心を奉戴し一億一心その總力を發揮するにおいてはこの難局を突破し皇國の理想を實現し得べきことを確信して各職域に最大限の努力を傾注して國力を充實し銃後の護りを完うし前線將兵の善謀勇戰と相俟つて皇國を富嶽の泰きにおきもつて宸襟を安んじ奉るの決意を固くしたいと存ずる次第であります

きのふ宮城に還幸

【東京電話】長くも　天皇陛下には親しく神宮に御拜、輝く皇軍の大戰果を皇祖の大御前に御奉告遊ばされるため十一日東京御發輦京都皇宮に御二泊、その間十二日神宮に御親拜至高の御儀を御滯りなく終へさせられて十三日午後天機いよ〳〵御麗しく宮城に還幸あらせられた、陛下には陸軍御軍裝に大勲位副章以下各種勲章、記章を御佩用、百武侍從長陪乘申上げ松平宮相以下供奉の略式自動車鹵簿にて十一日午前七時五十分宮城御出門東京驛にて皇太后陛下御使大谷大夫の奉送をうけさせられ宮廷列車に召させられて同八時御發車一路京都に向はせられ午後四時十分京都驛御着車、鹵簿を整へさせられて京都皇宮に着御、御安らけく御駐輦御一夜を過させられて明くる十二日午前六時四十五分京都皇宮御出門、京都驛より宮廷列車に召させられ沿道民草の奉拜裡に伊勢路を山田驛に向はせられ同行在所にて御親拜、かくて御親拜の御儀を終らせられて京都皇宮に還らせられ御一夜を京都皇宮に過させられた、かくて十三日午前八時四十分京都皇宮御出門、同八時二十分宮廷列車にて京都驛御發輦、午後四時三十分東京驛御着車、皇太后陛下御使大谷大夫の奉迎をうけさせられ天機いよ〳〵御麗しく略式自動車鹵簿にて十三日二重橋から宮城に還幸あらせられた

【社說】御參拜の御儀を拜して

一

長くも　天皇陛下におかせられては伊勢神宮に御參拜、御親ら皇祖大神の大御前に『曠古の大戰果を收めたるを御奉告あらせられ神威に奉謝の誠を致させ給ひ』し由洩れ承るは我等一億國民の齊しく感激措く能はざる所である。惟ふに大東亞戰爭勃發以來正に一年、この間大御稜威の下皇軍將兵の勇戰敢鬪により遂に海に空に振古未曾有の大戰果を擧げ、敵國米英をして大いに震撼せしめた。

二

凡そ一國の戰力はその國力の總和に國民の敢鬪精神を加へたるもので、その一を缺くも完勝は期し難い。敵國の物質力はその呼號する程のものでないにせよ決して輕視することの出來ない東亞の地域は永遠より脱退せしむるを得たるは世紀の驚異とする所であるが、敵は緒戰の大敗にも拘らずその誇る物質力を以て最後の勝利をなほ夢みつゝあるのである。いことは最近の海、空戰においても屢々實證せられて居る。又敵國の戰力についてみるもその目標とするものは低劣なるにせよ打倒日本の敵愾心は相當熾烈なるものがある。卽ち敵國の戰力は緒戰以來漸次昂揚せられて來てあることは爭ふべからざる事實であり、殊に日本に對する各種の兵器なる研究が盛んになつて來てゐることは敵を知らんとする戰爭の核心を把握し來れるものとして十分の戒心を要する。

三

一方わが方には戰場が數百千里の遠隔の地に在り、且つ百戰必勝、大東亞においては絶對不敗の戰略態勢の基礎を獲得してゐるため、或は戰爭の前途に對し動もすれば樂觀的氣分を以て觀んとするものあり、或は敵の物資力の彌大を過大に評價して戰心を抱くものありて未だ眞に聖戰の眞義に透徹しあらざるもののなしと言ひ難い。これらの心理が戰用物資の補供充實に影響せるものも絶無とは言へないであらう。言ふ迄もなく聖戰の目標は大詔にも明かに宣せられてゐる如く『東亞の安定を確保し以て世界の平和に寄與する』に在りて領土を略取し人民を壓服し以て自己の安逸を貪らんとする米英流のそれとは天地雲泥の差あるものである。

四

この大目標を完遂するには徹底的に敵を破碎するの一途あるのみであるが、それには一億臣民擧げて戰力の增強をなすの外はない、米英は斷じて歿敗ではないが又徒らに恐るべきものでもない。若し恐るべきものありとすれば、各自國民の心中に巣喰ふ『樂觀』『恐怖』の虫である。之を克服し必勝の信念を堅持し持續するにおいては上に『皇祖神靈の御加護』必ず存し敵國を屈服せしめ『八紘爲宇』の建國の大理想の達成も難事ではない。我等は天皇陛下神宮御參拜の盛儀を拜しこの有難き大御心に答へ奉るため『一億國民いよ〳〵一心同體一切を擧げて國家の總力を大東亞戰爭完勝の一點に集中』することを神明に誓ふものである。

神宮御崇敬の大御心
拜察し奉るだに畏れ多き極み

【東京電話】古來國家に重要事のある場合なかんづく外國と干戈を交へるやうな非常時に際會した場合畏くも皇室におかせられては公卿を勅使とし皇大神宮に幣帛を奉り時には宸筆の宣命を奏上せしめられて皇祖天照大神の御神威の顯現をお祈り遊ばされるのを例とし給うた、元寇に當り近くは幕末外患に當つての勅使御差遣など國民齊しく恐懼し奉るところであるが日清戰役の宣戰奉告、同平和克復奉告、日露戰役、さらには第一次世界大戰の宣戰奉告には勅使を神宮に御差遣あらせられ殊に日露戰役の平和克復には明治天皇御親ら神宮に御參拜あらせられ、然るにこの度大東亞戰爭の途次　陛下御親ら神宮に御親拜あらせられたことは神宮御鎭座以來未だかつてその例を見ず全く有史以來はじめての御事と拜する

今回の　御親拜こそは正しく神武天皇の御東遷に當り御躬親ら天神地祇を齋き祀りひたすら皇祖天照大神の御神助を祈らせ給うた御事實にも比すべきものである、皇大神宮年中恒例の奉幣使のほか皇族、國家及び神宮などに重大事があつて臨時に奉幣せられる時特に三位以上もしくは參議をもつて使に充てられた場合には、これを公卿勅使と呼びこの公卿勅使が史上に現はれるのは聖武天皇の天平十年五月右大臣橘諸兄を遣し遣唐使渡海の平安を祈らせられたのがはじまりで、明治に至るまでその回數約百二十餘、しかも同じく公卿勅使の場合にも特に宸筆宣命を賜うた例が一條天皇の時から開かれ、これまた明治に至るまで七十九回を數へる、天皇御幼沖の時には攝政が代書されたが中臣使（祭主）の奏する宣命は普通黄紙であるが、この場合に限り白紙が用ひられたので白紙の宣命ともいつた、この宣命の草案は中世以來高辻家から作進するを例としたが正保、天和時代には後光明天皇、靈元天皇が宸作遊ばされてゐる、公卿勅使發遣の翌際當日の早旦勅使が戰勝で參內し御召によつて御前に參進、宸翰の宣命を拜受する、この時『能ク申シテ進レ』との勅語を賜ひ重ねて『宣命讀ミ了ラハ神前ニ於テ之ヲ燒クヘシ』との仰せを蒙りこの經旨二十回に及ぶ公卿勅使御差遣は奈良朝には新羅征討のため天平寶字六年に、平安朝においては平將門純友の亂に際しては朱雀天皇、後鳥羽天皇の御代を通じ三度の奉幣があり、殊に蒙古來襲當時には龜山上皇より後宇多天皇の御代にわたつてしば〳〵公卿勅使を遣はし宸筆の宣命を賜つてゐる

當時の　西宮國司の注進狀によると神宮ではその數日前から兩宮の末社、風社の寶殿は鳴りはためくと見る間に廿九日目の朝突如神殿より赤雲一團上空に舞ひ上り忽ちにして大風をも卷き起さんばかりの大風と化し西方九州めがけて飛び去つたといふ御神靈が傳へられてある、これぞ弘安四年七月一日猛然として元軍を襲ひ博多灣頭十萬の元寇艦を屠り去つた神風であつたのだ、朝廷におかせられては、その御神異をかしこみ奉らせられ直ちに奉幣使を遣はされ神宮に、戰捷の御奉告を遊ばされた、また幕末に際し孝明天皇が安政五年六月權大納言德大寺公純卿をして攘夷御祈願あらせ給うたことなどいづれもわが國史上に輝しき重大事といはねばならないた弘化三年から明治維新にかけては歐米列國がいはゆる砲艦政策をもつてわが國に迫り漸く國難が府これが對策を講ずる術もない神州危急の一大非常時で　天皇はこの難局を打開するにはどうしても皇祖の神靈の御加護によらなければと思召されしば〳〵勅使を參向せしめられ攘夷戰勝、國家安穩を御祈願あらせられたなかでも安政五年六月の御祈願の際には宣命を奉勅使をして大神前に捧げしめられ文久三年には古例な臨時奉幣使の御差遣は先例のなかつたが未曾有の神宮行幸をすら仰出されたのである、然もこの時遂に御參拜あらせられなかつたが、これによつて天皇の神宮御崇敬が如何に深甚にわたらせられたかを拜察し得るのであつて洵に畏れ多き極みといはなければならない

吉澤大使西貢へ

【サイゴン十二日同盟】吉澤大使は目下サイゴンに駐在中の佛印政府と來年度經濟協定の交涉開始のため、渡邊參事、小野勝藏事務官同、十二日午後二時（日本時間）陸路サイゴン、小川ハノイ兩總領事ほか日佛兩官民多數の出迎へをうけて公使館邸に入つた、かくて日佛兩國關係はあげてサイゴンに移つたので年末より來春にかけてサイゴンは政治外交の中心地として異常な活氣を呈するものと見られる

畏し 御親拜の御事例

【東京電話】長くも　天皇陛下には皇國興亡の關頭にたつ大東亞戰爭第二年を迎へるに當り伊勢神宮を御親拜あらせ給うたが、國家の重大事に際し神宮御親拜の畏き御例はすぐる明治三十七年二月ロシヤと國交斷絕し砲火を交へ一年八ケ月にして曠古の大勝を贏し日露國交が回復した砌り　明治天皇御親ら神宮に平和克復を御親告あらせられた御ことをはじめ次の御親拜の畏き御事例がある

明治天皇
王政復古に關して御參拜（明治二年三月十二日）
關西御巡幸中御參拜（明治五年五月二十三日）
北陸、東海道御巡幸中御參拜（明治十三年七月八日）
日露戰役平和克復奉告御參拜（明治三十八年十一月十六、十七日）

大正天皇
卽位大禮大嘗祭訖らせられ御親謁（大正四年十一月二十、二十一日）

今上天皇
卽位大禮大嘗祭訖らせられ御親謁（昭和三年十一月二十、二十一日）

紀元二千六百年につき御參拜（昭和十五年六月十日）
また大正九年七月日獨戰役平和克復御奉告には御親告御名代を伏見宮貞愛親王に仰付られたが、國家の重大事に際し臨時奉幣祭を行はせられ神宮に勅使を參向奉幣せしめられた御例は明治以後において は次の御事例がある

王政復古奉告（明治元年七月）
奥羽平定奉告（同元年十二月）
皇室典範 および 憲法制定奉告（同廿二年二月）
明治廿七八年戰役宣戰奉告（同廿七年八月）
明治廿七八年戰役平和克復奉告（同廿九年四月）
明治三十七八年戰役宣戰奉告（同三十七年二月）
韓國倂合奉告（同四十三年九月）
日獨戰役宣戰奉告（大正三年八月）
大東亞戰爭宣戰奉告（昭和十六年十二月）

戰費となり
貯蓄となる
生命保險！
帝國生命
本社 東京・丸ノ內

敀傍書房
東京・麴町・九段一ノ六
振替東京一六六四六

文學博士 山田孝雄著 A5判 上製函入（價三・五〇 〒・三〇）
國學の本義
國學復興が各方面に叫ばれつゝある今日、國學の權威山田博士が荷田東麿呂の「創造國學校啓」を中軸として國學精神と、其の研究法を明示す。

文學博士 山田孝雄著 B6判 上製函入（價一・五〇 〒・一五）
平田篤胤
平田篤胤と神道とは不可分の關係にある。本書は篤胤の苦難な生涯と、そのもの神道思想の神髓について極めて平易に說けるもの、卷末に、後藤吉藏胤翁の著せる篤胤の一代記を附す。

文學博士 新關良三著 （價一・五〇 〒・三〇）
演劇研究
日本演劇、西洋演劇の顯著なる歷史的現象を檢討し、その特殊性を吟味して演劇藝術の本質を追究す。

海老澤有道著 （價四・〇〇 〒・三〇）
切支丹史の研究
切支丹問題を國史學の課題として扱ひ、中世より現代に及ぶ國史上に於ける切支丹の性格と地位を明かにす。

松宮一也著 B6判 三六〇頁 價二・五〇 〒一六
日本語の世界的進出
大東亞文化共榮圈確立の急務は、日本語の普及にある。本書は著者十年に亘る日本語普及への經驗を傾けて執筆したもので、內容を三部に分け、第一部では日本語の世界的進出の諸問題、第二部では大東亞の日本語教授について、第三部では日本語の普及の實際を詳述。

婦女界洋裁部編
ワンピース全集
定評ある本社洋裁叢書中新鮮な型ワンピース十二型を、一つ一つ實物大型紙付、最も親切な解說指導、美麗なグラビア（價一・七〇 〒十六）

小川文子著
洋裁學校
洋裁をまなんで知らねばならぬ基本自習用の一冊。（價二・七〇 〒十二）

婦女界社
東京・麴町・九段四ノ二十
振替東京三九七三番

那珂書店
東京銀座西六瀧山ビル
振替東京一七三八七三

佐藤得二著 元一高教授・文部省教學官
國民的教養の出發
―日本地人論―
A5判 三八〇頁 價三・二〇 〒二〇
日本の哲學を將來の課題として研鑽をつむ著者が日本人及び日本の國土を地理的、哲學的、宗教的、政治的のあらゆる觀點から論及し、以て將來への指導理念を確立せんとする。

德川義親著 芹澤銈介裝幀
きのふの夢
B6判 三五四頁 價二・八〇 〒二〇
「きのふの夢」に言ひ示したい鄕愁を覺えながら折にふれて書き誌した隨想集。科學に文藝に政治に行くところ可ならざるなき侯の典雅にして興味深き佳篇

名古屋高工教授 城戸久著 （最新刊）
先賢と遺宅
A5判 二七〇頁 寫眞五六葉入 價四・〇〇 〒二〇

記念 歷史小說
伊藤松雄著（武井武雄裝）
サムハンの太陽
―みまな日本府―
B6 三五〇頁 價一・五〇 〒一六
新刊　三韓隨一の美女"海瑞姫"を繞る無天動地の大波瀾に名調"四絃琴"の情緒は深くヤマト人の若き武勇は雄に奥りを固めた。奔放の幻想、流麗の筆致、げに非運、絢爛、豪壯を極む。今を六百年前より日本人と半島人との血は同胞の"任那日本府"の消長史を背景に築かれた歷史文學の大殿堂で、三韓研究に沒頭すること二十餘年の著者が今般半島に施行される徵兵制度の記念事業として半島同胞に贈る會心の作であり、今まで現るべくして現れなかつた內鮮一體文學の空白を埋める世紀の雄篇である。名ふ、本書によつて內鮮一體の理念を昂められんことを―
玉井清文堂
東京神田一ツ橋町 振替東京三八

聖紀書房・新刊
東京神田神保町一ノ二
振替東京一二五八八

文學博士 宮中顧問官 松田武夫著
勤皇秀歌（鎌倉吉野時代篇）
鎌倉時代、後鳥羽上皇を中心とし奉る勤皇諸家の優れた精神、吉野時代、吉野朝延を中心として最後まで忠節に生き拔いた數々の忠臣たちの至情に觸れたならば皆これ、我々の今日の問題として肺肝を打つものがある。
B六判上製 三二八頁 定價一・五〇 〒・一〇

文學博士 武田祐吉著
勤皇秀歌（萬葉時代篇）
萬葉研究の權威であり、愛國百人一首の選者である著者が、その選集を傾けたる萬葉集勤皇精神の結晶である。本書には勤皇精神を繞つて之を表面に扱つた歌は勿論、表面に勤皇精神に觸れないでもその身が勤皇に努した者の歌に至るまで網羅した
B六判上製 三五六頁 定價二・五〇 〒・一〇

陸軍中將 石原莞爾著
國防政治論
支那事變をどう解決するか？大東亞戰爭の本質は何か？世界最終戰に對處すべき國防日本の政治はいかに革新さるべきか？二十日頃重版出來。御買漏らしの方は至急書店に御豫約を願ひます。
B六判上製 三二四頁 定價二・〇〇 〒・一〇

蔣共の相剋愈よ深刻
北支軍中共剿滅作戰

【北京十二日同盟】大東亜戰爭一ヶ年間における北支派遣軍の中國共産黨軍の剿滅作戰概況ならびに中共地區の現況は左の通りである

北支軍ではさる六日大東亜戰第一周年記念日を迎へるに際し過去一年の[illegible]

飛躍的擴大

とこれが剿滅化は本年初頭の一年以上に及んだ[illegible]力の剿滅とその抵抗力の[illegible]明かにしたが、北支軍の偉大なる戰果を築きあげた中共主力作戰は二月初旬より全山西の山岳地帯に展開され冬季山西剿共作戰をはじめ、三月下旬より六月中旬まで山東省北部に展開された魯東作戰、さらに河北省でも四月一日を期して冀東地區に敢行された冬季作戰ならびに冀中作戰、ついで五月中旬より約三ヶ月間にわたつて繰展げられた山西、河北、河南三省境の山岳地帯に蟠居する共産軍主力殲滅の晋冀豫作戰、さらに山東省の沂蒙山區での殲滅作戰、魯中山區の[illegible]作戰、魯南作戰、第二次魯東作戰等を[illegible]

であつた、しかして主要剿共作戰のみでも一年間において遺棄死體三六、五四五、捕虜一六、[illegible]迫撃砲二四、重機四二、輕機三五二、小銃二七、一八〇の輝かしき綜合戰果をあげたのである、またわが軍の間斷なき追撃に中共軍は[illegible]地下政治組織をもつて民衆の[illegible]

漸次崩壞の

[illegible]が、延安派の活動を阻げてゐる共の[illegible]中共軍の[illegible]

新舊兩派の

[illegible]

再起不能の

[illegible]

非重點主義戰略

[illegible]

週間世界の動き
米英の戰爭目標
果して何處にあるか

銀礦山周邊

[illegible]

十日歐洲のカーチン首相は米英第一主義の[illegible]英の打合せの[illegible]

武器貸與輸出策

米英作戰不一致

彪大なる生産力

[illegible]

國土防衛の大布陣
内鮮滿を繋ぐ輸送會議
全南麗水で開催

【麗水にて佐久間特派員發】國土防衛の一大布陣として十三日午前麗水邑において開かれた内鮮滿を繋ぐ輸送強化の現地會議は交通と輸送の上に文字通りの内鮮一體を實現する使命の下に計畫されただけに總督府から江口總務局長以下櫻井土木課長、待山技師、田邊鐵道局長等鐵道、港灣、土木などの技術陣の精鋭四十名、企畫院から柴田第五部長、出口技手、江口大佐、牛島鐵その他滿洲國および關東州から關係代表（大東亜省代表臨席）臨時官として鳥山企畫局長、山田同土木課長ら參加[illegible]

行ひ、午後一時から麗水邑事務所會議室で輸送強化の會議に入つた柴田企畫院第五部長、總督、土木、鐵道の各部課の技術的立場から徹底的な大動脈樹立を檢討し午後四時内鮮滿の輸送ルートの一大強化を實現すべき重要な會議を終つた、會議終了ののち江口總務局長は語る

今回の現地會議に關することは一切發表するとは出來ないが、この計畫が最後的のものであるか或は京城へ持ち越すことになるか、まだ明年度豫算に計上されるか、といふやうな本會議に關する問題については一切發表は出來ない

なほ柴田企畫院第五部長、江口總務局長その他一行は十三日午後四時四十分發列車にて京城に歸つた

滿洲國開拓民
二期五ヶ年計畫要綱

【新京十二日同盟】戰争下國土開發と食糧增產の重大要請にかんがみ、日本内地人および朝鮮開拓民第二期五ヶ年計畫に即應して策定された内國開拓民第二期計畫要綱案は、去る二日の國務院會議および十日の參議府會議において審議決定を見たので、政府は十二日右内國開拓民第二期五ヶ年計畫要綱を發表した、計畫要綱の概要左の通り

一、方針　内國開拓民第二期五ヶ年計畫は開拓政策基本要綱に則り時局の要請に即應し全般的計畫のもとに内國開拓民輸送の指針を確立するとともに助成の合理化をはかりもつて國土の綜合的開發に資するものとす

要綱

一、開拓民として助成すべき戸數は康德九年以降五ヶ年間に概ね五萬戸を目標とす

二、開拓用地の選定については未利用地開發主義に則り綜合的計畫のもとにこれを行ふものとす

三、開拓民の移住については當該省縣内に定着せしむることを原則とするも必要に應じその他の地域に定着せしめることあるものとす

愛國百人一首解説 【三】
楠田敏郎

國學興隆時代(續)

かきくらすあめりか人に天つ日のかかやく邦のてぶり見せばや　藤田東湖

わが國はいともたふとし天地の神の祭をまつりごとにて　足代弘訓

君がため花と散りにしますらをに見せばやと思ふ御代の春かな　加納諸平

この三首、すべて〃日本意識〃である。日本に生れた喜びと誇り、それを、歌を勉強したものには、しみじみと感じられるのである。

藤田東湖は水戸學の本家、水戸藩に生れた、父は有名な藤田幽谷であつたから、早くから學問の道を辿り、文武に長じて、事あるときのために備へたが、攘夷の年、常陸の士擁藩に[illegible]の正氣を汚してならぬ〃と説いたが、これを譲さうとした位である。國學の[illegible]の[illegible]日本の立派な國體をしつかり見せてやれといつたのは當然である。〃かきくらすあめりかめ〃といつて、日の輝く我國にくらべて、米國をじめじめと雨の降るところにたとへた

足代弘訓は香川景樹から鶴の[illegible]一の歌人、また神典、律令を研究した人物であるから、祭政一致の國ぶりに感激して、このやうに歌つたのである。

〃神の祭がそのまゝまつりごと〃になるところ、即ち、皇道があるので、輩に權力なものだけで民衆が服從されるのは覇道に過ぎない。明治維新の[illegible]たやうにこれは八紘爲宇の大精神となつてゆくや全世界に及んでゐる。

加納諸平の歌もまたけふの日本國民の心を、そのまゝ詠じたものの如くである。勇敢に敵ふ忠勇なる將兵は、たゞうち、あの大きな感激ある

大君のお楯となつて死ぬことを無上の光榮として、立派に花と散つてゐる、この御國によつて國威の輝く御稜威は、まさに〃御代の春〃なのだ。それだけに、花と散つた忠臣雄に、治まる御代の姿を見せたいと思ふのは、全國民の念願なのである。

鵜子一杯の學者で、國力に

大君の宮敷きましし橿原のうねびの山の古おもほゆ　鹿持雅澄

大君の御贄のまけと魚すらも神世よりこそ仕へ來にけれ　石川依平

やすみししわが大君のしきませる御國ゆたかに春は來にけり　大倉鷲夫

春にあけてまづ看る書も天地のはじめの時と讀み出づるかな　橘曙覽

徳川幕府がどのやうに威民を壓迫しても、それによつて如何に安心してゐても、天壇の理を深へてゐる者の心には、この歌のやうな叡智が、萬々と燃えさかるのであつた。

鹿持雅澄は、高知の貧しい藩士であつたから、國學に志し古書をしきりに讀破する出來るであらう。

土れたが、江戸末期の國學者として知られ、幕府に國學所設置の建議をして容れられ、その講發となつた人である。富豪にこのやうな國史を要する建議が出來、またそれが容れられるといふ人物であつたことをこの歌は物語つてゐるではないか。

〃萬葉集古義〃を完成した歌の人、心を建國の昔にやつし、橿原に宮居をきづかせ給うた御時のことを、幕府が詠れ、やうな歌をし、國民も深くを歎めないのを痛烈したのである、この歌は朗かに詠まれてあり乍ら、朕に涙ぐむどきのあるのを、酌みとることが

石川依平もまた、福く聞つてある、魚でさへも、神代の昔からは神前に供へられた、めに、大君のめさせられる御贄に、身を捧げまつるのだ、それであるのに、いま天下の狀態は何だといつてゐるのがこの歌に溢れる愛國の熱情である〃何だ〃と叱られてゐるのは、誰か、いかなる者かは讀者の既に知られるところと思ふ。

この人は遠江の豪村に生れ大義を作つたので奇童とはなれたが、學者であつたといふに過ぎない、その依平をさへこのやうに惑らせた幕府の國體を思ふとき、維新志士がつの現はれたのは當然であつた。

大倉鷲夫の歌にも、緊迫した時代にも、さすがに大君の治め給ふ國なればこそ豊かに春が來たといふよろこびの心がある、それと同時に天下が大平であつて、國民が春を謳歌するのは、徳川のおかげではないぞと叫ぶ、強いやて

うな一本の鉾が含まれてゐるのだ、見逃してはならない。

橘曙覽の歌になると、時代がずつと過ぎて、江戸幕府は遂に倒れ御親政の御代になつてゐる、だから〃春にあけて〃と新しい時代が來たことを最初に力強くいつてゐる、その春に、書をひらけて讀むとき、天地のはじめに遡ふ心地がするといふのが、曙覽の感激であり、明治の聖代を謳歌する國民の聲なのである。

この人は福井藩に生れた江戸末期の歌人であつて今日もなほその歌風は高いものと稱讃されてゐるが、さらに〃めらぎの大御使と歸くから世に新しい時を知らせて〃といふ歌を殘してゐる、これは明治元年、北陸鎭撫使が福井を過ぎるのを迎へて詠んだもので、素直さと、事に徹する歌の正しさがよく出てゐる。

曙覽と同じやうに、明治の聖代に遭ふのよろこびを詠ひ得たものに、大隈言道があつ

て

男山今日の行幸の畏きも命あればぞをろがみにける　大隈言道

と詠じてゐる。この歌は、明治の御代になつたのを御奉迎遊ばされる恩召で、天皇におかせられては、御行列を奉美しく、男山八幡に行幸遊ばされた、言道は郷山から既に大阪に出てゐたので、聖駕を拜む有様を拜すべく男山に趣いた、そして慕さの涙を流しながら、このやうに歌ひあげたのであつた。

いまつろはぬやからに

みちのくの外なる蝦夷のそとを漕ぐ舟より遠くものをこそ思へ　佐久間象山

執り佩ける太刀の光はもののふの常にみれどもいやめづらしき　久坂玄瑞

君が代はいはほと共に動かねばくだけて返れ沖つ白浪　伴林光平

書は和してゐる日本なのだから、遠からぬうちに、我々の歐惑は、このやうな鑑を以てことが出來ると歎ふと朗能さの限りである。

象山は、ロシヤが我國の北方を狙ふため歿競然たるのを眺めながら、たゞそれに驚くことなく、自分なりに夢かいところへ眼をやり、物を考へてゐると歌つてゐるのであらる、それは何か、日本がこの際の渾國におくれぬやうにせねばならぬぞと考へてゐるのであつて、歌としても立派である、象山の見識はそれ以上である。

久坂玄瑞は松陰の門人であればその妹婿でもあつた、いかに松陰がこの人物を見込んだかがわかるが、惜しかに二十五

で死んだ人物が、このやうに歌つてゐるのは、太刀を磨きながら、時を待つてゐる姿を浮き上らせるものだ。太刀なのだ、この太刀に物をいはせる日の來ることを思ふと、何とよく光つてゐるではないかといふのが、歌の意味であつて、武人の作とは思はれぬほど、趣をぬいた名歌である。

伴林光平はアメリカを沖の白浪にたとへ、日本などへ浮寄せても、その様は動かぬ碎けて空に散るのがせいぜいだと歌つたものであつて、これらはまた今の我々の心であり米國の現狀だ。

武夫のたけき鏡と天の原あふぎ尊めますらをのとも　平賀元義

この人も、有名な歌人、ころしく、將へをちがへるなどの場合の〃天の原〃なたゞ空ではなく、高天原と考へてよいつて、大義を湖へたものである。

本社寄託獻金

國防獻金 (陸軍)(十二月八日分)

千五百圓　京城府花園町一〇土木建築請負業京城府組合員人組合一同

千圓　本町四丁目三一　藤原定一

五百圓　龍山一丁目五〇株式會社小松本店京城支店

五百圓　長谷川町第一生命保險相互會社朝鮮支社職員一同

三百圓　明治町二丁目二五合資會社京城澤田商店一同

二百五十圓　鍾路二丁目五〇株式(?)

二百圓　永樂町三ノ六　[illegible]

百八圓五十三錢　京畿道富川郡素砂邑　[illegible]

百五十圓　京城府黄金町四ノ一〇六　[illegible]

[illegible]

皇軍慰問金 (陸軍)

[illegible]

累計金八十二萬七千九百十二圓二十七錢也

國防獻金 (海軍)

[illegible]

皇軍慰問金 (海軍)

[illegible]

日計金二千三百二十七圓十八錢　累計金二十二萬四千二百十四圓六十二錢

鮮内防空監視隊慰問金　累計金一萬六千四百七十九圓二十四錢也

九軍神顯彰金

累計金二千七百二十二圓十八錢也

總計金百七十萬一千四百二十七圓四十二錢也

隨想錄

明治卅八年十一月十四日　明治天皇は日露の平和克復を伊勢神宮に御親ら御奉告遊ばすため宮城を御發輦十五日山田に着御、神宮司廳の行在所に入らせられた▲それより十六日午前十時二十分行在所御出門外宮に御參拜遊ばされたのであるが當日の御模様について齋藤明氏の次の如く書いてゐる▲御參拜の御模様を拜察しましたところ、何ともいへず御機嫌麗はしく拜されました。御着御の後、城内の行在所に着御、御少憩の御後別の御帳により御拜、人一人にも御いで御輿を奉持した近衛將校さん全行として御馬車が進御になり▲御入母屋の御陛下には大元帥の御正裝を召させられて御羅紗の御神裳はしく▲御後には宮內、御侍從長、侍從武官長、伏見大將宮、山縣元帥、德大寺侍從長、山本海軍大臣、寺內陸軍大臣、田中宮內大臣、清浦、内務大臣等何れも徒歩で扈從されました、誠に嚴粛の極みであつたさうであります▲その時の御製として傳へられてゐるのが

いすゞの宮にまゐるけふかな　久方のあめにのぼれる心地して

といふのである。

空の直研理　(理) リーランプ

味美　ねつぽせきには　オイゲン 攷源　お茶でのむと よくききます　價 三〇・五〇・一〇〇　大阪市東區淡路町二丁目 株式會社中西藥店

大映ロケ隊が半歳に亘る將兵と共に死鬪の末砲煙彈雨の中に獲へ得た此の感激!
英國崩るるの日　香港攻略
宇佐美淳　小柴幹治　加賀邦男　永田靖　伊澤一郎　杉村春子　黑田記代　紫羅蓮(香港スター)
後援 陸軍省　文部省 推薦　監督 田中重雄
紅系 十六日封切
京城寶塚劇場　京城劇場

濕布に　新發賣　今般エキホス姉妹品として發賣したる本劑は專らその藥効並に持續時間の永續に留意して製造せるものにして用法も至極簡便安全なる粉末濕布藥なり
包裝　一〇〇瓦　二〇〇瓦　五〇〇瓦　三瓩
特徴　一、長時間有効なる事　一、使用法簡便にして非常に爽快なる事　一、皮膚炎を起す等の副作用なし　一、價格も低廉なり
主治効能　感冒、肺炎、肋膜炎、氣管支炎、扁桃腺炎、中耳炎、ロイマチス、神經痛、打撲傷、捻挫等
簡便・爽快・長時間有効　スホキエ末粉　エキホス姉妹品

腎臓疾患　危險なる尿毒症、高血壓に推賞せらる　病的蛋白の顯著なる減退は醫家の齊しく驚嘆せらる所にして全國官公立病院指定御採用の榮誉を擔ふ
スルファミン劑常用者の屢々訴へる蛋白尿に本劑の併用は最も合理的なりと醫界の定評を受く
甘味なる服用容易の液劑　價格 一〇〇瓦入 一圓三五錢　四五〇瓦入 五圓五〇錢　詳細なる說明書進呈す
アルワチン
神經痛 リウマチス　アトカルミン錠　1/10 3/40 6/60 其他
大阪市東區道修町四丁目 日本藥品洋行　東京市日本橋區本町二丁目 田邊元三郎商店

腸　全國官公立病院御採用品　乳酸菌製劑　下痢、消化不良、腸カタル、便秘等　總べての腸胃諸疾患、特に乳幼兒の消化不良、綠色便に廣く賞用せらる
エンテロノン
大阪市東區道修町四丁目 日本藥品洋行

商業登記公告

[illegible]

第六回決算公告

朝鮮協同海運株式會社　[illegible]

第貳拾壹期決算公告

株式會社阿部藥房　[illegible]

仁川窯業株式會社　[illegible]

[illegible]

麗陽神路山に映えて 肇國初めて拜す行幸 沿道の民草涙に咽ぶ

【山田電話】昭和十七年十二月十二日この日こそ三千年の歴史を通じて初めて至尊御親ら時艱を克服せらるべく皇祖神宮に御親拜遊ばされた歴史的の第一日であつた、畏くも米英撃滅の大詔を渙發して茲に一年、民草には長く忘れ得ぬ感激の一日であつた、民草は畏くもこの日の行幸の有難さ [illegible]

聖旨 を奉戴申し上げ [illegible] 畏し奉迎申上げた、陛下の御聖姿 [illegible] がませる時を見られる、たまたま今日の光榮に浴した奉拜の赤子 [illegible] はこの御軍裝と玉顔 [illegible] れた至尊の御姿に戰爭國日本に生れた御一人に [illegible] どもすへきもなき感激 [illegible] 御時間である、畏くも [illegible]

名殘りなく霽れ渡る [illegible] 行幸 [illegible]

行幸 [illegible] 聖駕の [illegible] 日本の [illegible]

玉音 神々しく御告文を奏させ給うたと [illegible]

後世に傳ふべき御事柄 神宮大宮司・高倉篤麿氏謹話

【東京電話】畏くも天皇陛下には [illegible] 神宮に御親拜あらせられ [illegible]

しかもなほこの度の御親拜におかせられては [illegible] 御告文を奏させ給うたのでありまして [illegible] 至尊の [illegible] りません [illegible] 國史上に特筆大書さるべき [illegible] この戰時下に [illegible] 謹みて [illegible] あります

御製に拜す 畏し敬神崇祖の大御心

【東京電話】畏くも天皇陛下 [illegible] 下この度神宮御參拜は神武天皇御東征 [illegible] 皇祖天照大神の御神助 [illegible] 御製を拜 [illegible] 大御心を [illegible]

明治天皇御製

曉や五十鈴の川のながれ汲みつ [illegible]

【神祇】同三十八年 [illegible]

【神祇】同三十九年 [illegible]

孝明天皇御製

[illegible]

【神祇】同二十七年 [illegible]

國難 [illegible]

[illegible] 國難 [illegible] 以來の行幸を [illegible]

神宮別社供進の御儀

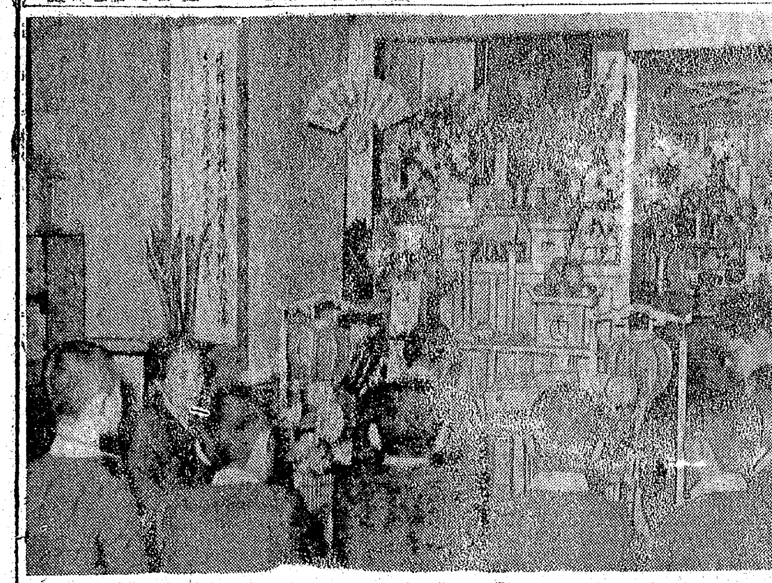
【東京電話】畏くも天皇陛下には神宮御參拜に際し荒祭宮、多賀宮をはじめ神宮の一部別社に御幣物を供進あらせられる [illegible] 十四日も別社に供進の御儀を執行する

李容九未亡人の還暦祝賀宴

[illegible] 李容九氏 [illegible] 未亡人 [illegible] 還暦祝賀 [illegible] 朝鮮ホテルで [illegible]

英靈裏の凱旋

支那事變以來南方各地に轉戰、赫々たる武勳を樹て遂にビルマ戰線において護國の華と散つた [illegible] 十三日頃 [illegible] 京城に無言の凱旋をした



【寫眞＝[illegible]】

軍神の生家を訪ねて (4) 九州班

[illegible] 軍神の [illegible] "エイサ、エイサ" [illegible] "去年の十二月八日、横山軍神が眞珠灣に散られた時、誰いふとなく五六人の子供が集つて [illegible] 今は五十人から [illegible]

武勳を囁くカブト貝 負けず嫌ひの正治少年

故横山少佐宅

[illegible]

聖慮を安んじ奉れ 御親拜に恐懼 今泉翁謹話

【東京電話】畏くも天皇陛下 [illegible] 伊勢神宮御參拜につき、今泉定助翁は [illegible] 二三の目的で [illegible] 次の如く謹話した

[illegible] 陛下が [illegible] 皇祖天照大神の [illegible] 御參拜あらせられ [illegible] 國の [illegible] 聖慮を安んじ奉る [illegible]

武運長久祈願の餅搗き

"ヨイショ、ヨイショ"と掛け聲も勇ましく、杵ふり上げる腕にも力が籠つて──京城在郷軍人第四分會では十三日午前九時半から昭和通三田汲園前で出征軍人の武運長久祈願の餅搗會を行つた、搗きあげたお餅の大きな塊を盤にうつし [illegible] 手早くお供へに丸めるあたりなかなか手際のよいところを見せて [illegible] 同十一時終つた

【寫眞＝搗き上げたお供へ餅】

日赤看護婦合格者

日本赤十字社朝鮮本部が募集中の [illegible] 昭和十八年度甲、乙種救護看護婦生徒は應募者三百十三名に達し京城、清津、光州、山口各地で [illegible] 甲種五十五名、乙種八名が合格、明年四月一日入學することとなつた

（甲種）[illegible]

（乙種）[illegible]

茶ツ葉服で指揮 伊藤專賣局長 增産戰士を激勵

【[illegible]】[illegible] 專賣局長 [illegible] 九日から [illegible] 十三日 [illegible] 茶ツ葉服 [illegible]

半島民の赤誠 海軍への獻金 總額一千五百萬圓

昭和十二年支那事變勃發してから [illegible] 用機百十機 [illegible] 別の内譯は次の通り

▲昭和十二年＝[illegible]

▲昭和十三年＝[illegible]

▲昭和十四年＝[illegible]

▲昭和十五年＝[illegible]

▲昭和十六年＝[illegible]

▲昭和十七年十二月末日現在＝[illegible]

八千萬圓を突破 軍援に銃後の赤誠譜

【東京電話】大東亞戰爭勃發一周年の八日を中心として去る五日から十一日まで全國に展開された軍人援護強化運動は [illegible] 總計四千二百萬圓 [illegible] 合計八千萬圓となり [illegible]

吉田司令長官歸滬

【上海十三日同盟】支那方面艦隊報道部發表（十三日午後八時）吉田支那方面艦隊司令長官は去る九日以來南方面に [illegible] 日歸滬せり

特急話題

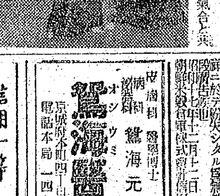
☆……[illegible]

☆……最近モロッコ方面よりタンジエーに到着した一旅行者の語るところによると [illegible]

☆……[illegible]

道場を壓する必殺の氣合 大九對大城 劍道定期戰

[illegible] 第十三回 [illegible] 劍道 [illegible]



【寫眞＝[illegible]】

出發に際しては御多用中にも拘らず御見送を辱うし有難く厚く御禮申上候

松原鶴一

純子

本ホテル（本三ホテル）京城府本町三丁目 電話本局(2)六八一

義手足 コルセット 優秀技術 團體割引 日本陸軍御指定 髙野義肢製作所 京城長谷川町

鷲海醫院 皮膚科 泌尿科 鷲海元則 京城府本町四 電話本局二四九五

信用一等 みのや呉服店 京城本町二

日本共立火災 京城支店

NGメガー 國産最優秀品 電壓計・電流計・通信機各種計器・電氣工事材料 販賣・修理 御照會ヲ乞フ 起亞商會

公告 [illegible] 昭和十七年十二月十日 京城地方法院

安産のために ワダカルシューム錠 和田卯助商店

荒れた肌のお手入れに ケナシ

お乳の出をよくする ビタホルモン 美味錠劑

賞與と債券 大東亞戰一周年記念發行 第六回戰時債券 貯蓄 報國 御乘換願ヒマス 日本勸業證券京城支店

アマツクリーム 薔薇の花の意匠で有名な── 興亞化學工業の力作です… 藥用パパイン

外科 白麟濟病院

血液酸毒症とは ビオカルク

丸鋸・帶鋸 製材木工機械 弘瀨商店 大阪市

輸送船護る海鷲の辛苦
敵潜艦の〝背〟打碎く
見る〳〵海面に噴出す重油

【南太平洋〇〇にて宮川海軍報道班員發】〇〇基地に憩ふ軍艦〇〇の飛行長の操縦する新鋭艦攻に便乘した私は幸ひにも南太平洋の大空から敵潜水艦擊沈の壯烈極まる場面を目擊することが出來た
護衛に飛び立つた〇月〇〇日軍艦〇〇を發艦した飛行長機は快晴に惠まれはてしなき大海原を〇〇群へと哨戒をつづけてゐた時だつた、軍艦〇〇より〇〇〇浬〇〇附近に敵潜望鏡が見えた、つづいて直ちに〇〇水道に向つて敵潜水艦を徹底的に制壓すべし』と艦の無電に接し飛行長機は、敵潜水艦の潛跡する地點に急行したのである、南海の海は瑠璃色に輝きリーフを洗ふ波頭が陽光に照り映えてゐる積亂雲のある水平線の彼方には敵艦が一隻、二隻、三隻波頭を蹴つて堂々と航行してゐる、機はすでに敵潜水艦がどこかに潜んでゐるはずの地域に達したものと見え、對潜警戒がはじめられた、きもせず海面を凝視する私の目に映ずるものは、白い毛糸のやうな波頭のみだ、渺々たる外洋の深水中に隱れてゐる潜水艦を發見することは容易な業でない、艦を飛び立つてすでに〇時間、南海の熾烈な太陽の反射で目は充血し頭はぐらぐらするが任務はこれからだ、飛行長は右に左に機を操りながら獲物を狙ふ鷹のやうな鋭い目で海面を凝視してゐる、南方の海は清澄透明とはいへ變化する海面の明暗の交錯は一種のたくまざる擬裝となつて敵潜の凶姿はなかく機影である、遙か彼方に帽影を見せてゐた輸送船が〇時間も知らぬ氣に危險地域に航行して來るではないか、一刻も早く敵潜を發見しなければならぬ、機は輸送船の前路對潜警戒をはじめ、親に手を引かれた子供のやうに輸送船はその運命を一切わが機に託してゐるのだ、無事に航海をさせてやらねばならぬ責任感が沸々とわき上つて來る、まして機長の氣持はどんなであらうか、警戒は非常な重さをもつて行はれてゐる、ともすれば私の目はボーツと霞がかかつたやうにみえなくなる、〇時間の長きにわたる海上偵察は泣かぬ私の視力を衰へさせたのだ、その時だつた飛行長の『左下 潜水艦』と叫喚する聲が傳聲管を通じて私の鼓膜を激しく打つた、はつとした瞬間、機は左に急反轉して降下、爆擊の姿勢に入つた、〇〇メートルの高度からぐうつと敵潜目がけて突込む、機の前に海面が非常な早さで迫つて來る、殺がすうーつと急に浮き上るやうな衝動を感じた、ほんの瞬間であるが泡立つ波間に敵潜らしきものが見えた瞬間、機を離れた〇〇キロの爆彈は糸を引いたやうに海面に吸ひ込まれた、と思ふ間もなくだあーんと爆音が炸裂すると海面が盛り上るやうな物凄い勢ひで水煙が立ちのぼつた、機はすでに上昇しつつ旋回爆擊の効果を確めてゐると大きな波紋がぶく〳〵と浮いて來るのが見える、すかさずこれを目標として反復爆擊を加へる、一瞬にして敵潜の姿は搖り去られたであらう無殘なぎら〳〵する重油らしきものが海面に黒々と浮いて來る、効果は確實らしい、私の方を振向いてにつこり笑顏を見せた飛行長の顏には獲物に對する猛烈な擊効果にひ知れぬ滿足の色が浮び出てゐる、輸送船の甲板にひしめいてゐる乘組員たちは我らに感謝してゐるのであらう、手が切れるばかりハンカチを振つてゐる、『安全なる御航海を祈る』と機は左右に翼を振つて信號を送る、海上は何事もなかつたやうな靜寂さを取戻した、ただ泡立つ海水と油の波紋だけがわれらの勝利を物語る標となつてゐた、敵潜水艦を發見しこれを爆擊して効果概ね確實なる旨の無電を軍艦〇〇に發信、心も爽かに歸途についたのだつた

クーリッヂ號爆沈
兵四千名を滿載
米海軍省發表

【リスボン十二日同盟】ワシントン來電＝米海軍省は米國商船プレジデント・クーリッヂ號（二一九三六トン）が最近兵員四千名を積載して南太平洋を航行中、機雷に觸れて沈沒した旨十二日發表した、同船はプレジデント・ラインの新造豪華船で戰爭開始前後に徴用されたものである、なほプレジデント・クーリッヂ號の沈沒事件は最近二週間以内に發生したもので當時同船は輸送船として軍隊ならびに裝備品を輸送してゐた

生殘り僅か二名
大音響と共に巨船忽ち傾く

【リスボン十二日同盟】サンフランシスコ來電＝南太平洋で機雷に觸れて沈沒した米豪華船プレジデント・クーリッヂ號の最後の脱出者二名のうちの一人である同號乘組火夫チャールズ・ロスは十二日サンフランシスコで同船沈沒の模樣を左の如く語つた
最初の爆發が起つたときには、まだ機關室で働いてゐた、記憶に殘つてゐるものといへば爆發の際の大音響だけで後は一切夢中としてゐたが、氣がついたときにはどん〳〵水が浸入してをり階梯へ出る梯子はすでに爆發のため落ちてしまつてゐた、仕方がないので昇降口にある格子蓋まで登り更に機關の頂上に登つたが、それとほとんど同時に水が格子蓋のところまで浸入して來てゐた、そのとき突然船が傾斜し頭の上に微かな光が閃くのを見た、近づいて見ると通風筒なのでそれにつかまらうとしたが、不可能だつた、第一補助機關士ジョン・パトンは通風筒の上から繩を投げてくれたが、傾斜してゐるため、私は繩に届かずぐづ〳〵してゐるのを見て彼は通風筒から降りて來て繩を私の腰にくくりつけて引張つてくれ、遂に私達二人が最後に船から逃れ出ることが出來た

英の攻擊空し
獨軍猛烈に擊退
エジプト戰線

【ベルリン十二日同盟】前線からの報道によれば、モントゴメリー麾下の英第八軍はエル・アゲイラ戰線において十二日早朝獨伊軍陣地に對しいよ〳〵本格的攻擊を開始したと傳へられる、英軍はまづ猛烈な砲擊をもつて獨伊軍陣地を爆擊したのち、海岸道路の兩側から強力な步兵部隊を前進せしめる作戰のもとに步兵部隊および特科隊を驅使して遮二無二西方に對する戰車部隊の通路を開かんとしたが獨伊軍の頑強な抵抗に遭ひ、目的を達し得ずつひに正午ごろ英軍指揮官はこの方面の攻擊を斷念して南方の獨伊軍陣地に攻擊を移動した、しかしこの方面においても英軍は頑強に防禦に努めた獨伊軍の前に何ら戰果をあげないうちに、獨軍戰車部隊は獨伊步兵部隊の援護下に強力な攻擊を開始して英軍に多大な損害を與へて退却を餘儀なくせしめ、多數の英捕虜と戰利品を獲得した、しかし同日午後モントゴメリーは新鋭戰車部隊を再び同地區に送り來り、目下兩軍は激戰を展開してゐるといはれる

赫々たる戰果
獨軍司令部發表

【ベルリン十二日同盟】獨軍司令部は十二日公報をもつて各戰線における戰況を次の通り發表した
▲東部戰線　一、赤軍は十一日強力部隊をもつてルジョフ南方の獨軍陣地に對し大規模な攻擊を開始し極めて強力な步兵並に戰車部隊をもつて獨軍陣地の突破を企圖したが獨軍は敵に多大の損害を與へ獨陸軍ならびに空軍は赤軍戰車百七十臺を破壞した、このうち百廿七臺は一獨步兵師團の戰鬪地區のみで破壞されたものである
一、トロペツ東南地區においても赤軍はまた〳〵戰車三十六臺を喪失し獨軍はさらに據點を獲得した、この地區において獨軍に包圍されてゐる赤軍は必死となつてあらゆる救援工作を試みてゐるがこの包圍赤軍に對する獨軍の重壓は次第に增加してゐる
▲北阿戰線　一、チュニジヤ戰線では獨軍は攻擊を續行し敵が頑強に防禦してゐたメジェル・エル・バブ南方の敵陣頭堡に突入英軍を完全に掃蕩した
一、獨空軍はアルジェリヤ海岸の敵兵站港灣に晝夜を分たず攻擊、港灣施設ならびに碇泊中の船舶を反復爆擊した
一、獨一潜水艦はオラン沖において米驅逐艦一隻を擊沈した
▲對英戰線　一、獨爆擊機編隊は十一日夜イングランド東海岸のサンダーランドを空襲重要港灣施設ならびにドツクに巨彈を投下大火災を發生せしめた、獨機二機還らず
一、獨輕爆擊隊は十一日夜イギリス海峽において英艦隊と交戰英驅逐艦一隻を擊沈炎上せしめた

西印度洋で四十隻擊沈
獨軍戰果發表

【ベルリン十二日同盟】獨軍當局は十二月九日以來西印度洋において擊沈された反樞軸國船舶は四十隻に達した旨發表した

アマリリス號も擊沈

【ベルリン十二日同盟】獨軍筋では十二日西印度洋方面における獨潜水艦は最近南阿ダーバン沖でパナマ商船アマリリス號（四、三二〇トン）を擊沈したがこれによつて去る九月以來獨潜水艦が印度洋方面で擊沈した敵船舶は合計四十隻に達した

イランの暴動激化
米英空手形で鎭撫

【ベルリン十二日同盟】テヘラン來電によれば食糧飢饉に端を發するイランの暴動を鎭壓するため英軍は十日夜テヘランに進駐したが暴動は一向に鎭まる模樣なく却つて軍隊の闖入により一層紛糾した、民衆は市內至るところで食糧を襲擊、掠奪を繼續してゐる模樣である、これに驚愕したテヘラン駐箚の米公使は十一日ラジオを通じて米國がイランに約束した供給穀物の到着が遲延してゐるのは全く戰爭による輸送の困難に起因すると說明し、米國ならびに英國はすでに救濟用食糧の第一回分として五千トンの穀物をイランに送る手筈を整へた旨をイラン國民に發表、空手形の言譜をして暴動の鎭撫に努めてゐるが、民衆の激情は容易に治まる模樣なく情勢は依然險惡といはれる

中共剿滅作戰
〝華北攪亂〟全く水泡
蔣共血みどろの相剋

【北京十二日同盟】大東亞戰爭勃發以來一ケ年間における北支派遣軍の中國共產黨軍の剿滅作戰概況ならびに中共黨軍の現況は左の通りである
◇
北支軍ではさきに大東亞戰爭一周年記念日を迎へるに當り治安圈の飛躍的擴大とこれが固定化は本年初頭の二倍半以上に及んだと發表、中共軍の武力喪失とその政治力の衰退振りを明かにしたが、この偉大なる成果を築き上げた剿共主力作戰は二月初旬より全山西の山岳地帶に展開された冬季山西肅清作戰をはじめ、三月下旬より六月中旬まで山東省東部に展開された春季作戰さらに河北省でも四月一日を期して殲滅的に敢行された、冬季作戰ならびに夏季作戰、ついで五月中旬より約三ケ月間にわたつて繰展げられた山西、河北、河南三省境の峻岳に據居する共產軍主力撃滅の晉、冀、豫省境作戰、また山東省方面でも沂水縣蒙陰作戰、徂徠山周邊作戰、魯南周邊作戰、魯東山區作戰、魯南剿共戰、第三次魯東作戰などであり一方蒙疆地區においても七月中旬より九月中旬にわたり銀礦山周邊において剿共戰を展開するなど全華北にわたつて中共黨軍に對し徹底的綏靖を加へて、後方攪亂企圖の粉碎、經濟封鎖路を完封したのであつた、しかして主要剿共作戰のみでも一年間において遺棄死體三六、八六八、捕虜三六、五四五、鹵獲品山砲三、迫擊砲一四六、重機四二、輕機三五二、小銃二七、七八〇の夥々たる綜合戰果をあげたのである、またわが軍の間斷なき追擊に中共軍は專ら地下政治組織をもつて民衆獲得に躍起の活動を續けてゐるが、治安強化運動の展開により中共の企圖した華北攪亂は全く水泡に歸し華北における軍政黨の組織工作は漸次崩壞の一途を遮るに至つてゐる、殊に晉、察、冀邊區政府は皇軍の肅清戰により殲滅的大打擊を受け、冀中、冀東の兩沃野を失ひ、加ふるに今春來の旱魃水害による極度の飢饉に陷り民衆の離反、動員將兵の脱走逃亡により邊區政府および軍隊の困憊は想像以上のものがあり、また長城線を越えて察、甘、寧邊區を續滿に結ばんとした野望も夢想に雲散され同邊區は完全に身動き出來ぬ狀態に陷つてゐる、また山西省西北部に據居する晉西北邊區政府も山地帶に加ふるに息もつかせぬ殲滅作戰によつて深刻な新舊兩派の內部分裂を招來し大部分の軍政機關は黃河を越えた陝西北部に移した、さらに晉、冀、魯、豫邊區政府および同邊區內にある朱德の第十八集團軍司令部を含む中共抗戰力の自主的培養地も山西、河北、河南三省境作戰をはじめ太行、大岳兩軍區の殲滅戰によつて兵器工廠、藥品廠、被服廠などの軍事諸施設も殲滅され中共補給源の喪失は各軍區を急速に貧窮化せしめた、また山東に盤踞を誇つた徐向前東縱軍麾下の山東縱隊および陳光麾下の百十五師も今春以來の徹底的作戰により魯東、魯中、魯南の諸作戰で再起不能の苦境に陷つてゐる、かくの如き崩壞の際に足掻く中共は黨軍政の再建に狂奔し毛澤東の指令下に三風整頓運動、精兵簡政主義などを強行したが、これら政策も厭戰氣運、民衆離反、內部相剋を激化する結果となつた、一方蔣共相剋は地盤と權益確保のため深刻化の一途を辿り血で血を洗ふ紛爭が山西東南部および山東地區で繰返げられ抗戰力脆弱化に拍車をかけてゐる狀態である

ラジオ　14日

朝　七・〇〇『滿洲に更生した喜び』新安東京開拓團々長川崎一雄 2 愛國百人一首 川忠一▲八・〇〇今日のお知らせ▲八・二〇（謠曲）同▲九・〇〇『野菜の貯へ方』農林省技師瀬〇三郎▲九・三〇凍傷の手當（雜話）指導楢原學▲一〇・〇〇ウタノオケイコ『タキビ』（指導）岸田しをり▲一一・〇〇一年生の時間 對話と音樂『お正月』京城元町國民學校兒童

晝　〇・三〇一軍國歌謠〝心晴れ〳〵〟〝太平洋を征く〟ほか（合唱）日本合唱團（伴奏）東京放送管弦樂團 2 手風琴獨奏〝凱歌と共に〟ほか 瀧澤一雄▲一・〇〇朗讀『開墾の記』（一）上坂本廣行作▲一・三〇傷痍軍人の爲に（一）（東）『傷痍軍人諸君に』軍事保護院總裁 陸軍大將 本庄繁（大）『尊き御仁慈と明朗なる生活』▲二・〇〇國民學校放送『學校新聞』▲二・三〇朗讀（雜話）『優秀な若人』伊東淵▲四・〇〇教師の時間『戰爭と訓練』陸軍省兵務課長陸軍少佐兒玉久藏▲四・三〇國史譚（雜話）『平田篤胤』琴川京城高女校長

夜　六・〇〇一シンプ2『話の泉』高杉早苗ほか▲六・三〇決戰第二年への構へ 總力聯盟宣傳部長津田剛▲七・五〇ベルリンよりドイツ通信▲八・〇〇一三元放送『楠公』大阪放送合唱團、大阪放送管弦樂團 2 愛國詩『颱風萬里』ほか 退役海軍大佐▲九・〇〇（謠曲）1 狹田 2 野謠『深夜の鐘聲』金源雲▲九・四五初步國語講座

大いなる祭【7】
中野實作　三芳悌吉繪
その前夜（七）

『ところで』
と、ソルメイダは封を切つた書類に目を走らせながら、
『香港ぢやあ、どう見てゐますか、日米會談の結末を』
『來るところへ來てしまつたといふ感想ですよ』
『それで？』
『それで、日本は最後に折れるんぢやあないかつていつてゐますがね。しかし香港政廳は血眼になつて防備に大童です。この前來た時とはまるで街の樣子も變つてしまつて、あの海岸通から、すつかりでつかいトーチカが出來てゐるのにはおどろきましたよ。これはアリッヂマン氏から聞いたのですが、日本軍が國境方面へ兵力を集中してゐるといふ話がありますが、ほんたうですか』
『それはほんたうかも知れない』
『ぢやあ、日本はやる氣なんですね』
『それはどうかね』
アルメイダは鼻でせゝら笑ふやうに、
『やる、やるつていふのはジャップ（日本を蔑る言葉）どもの口癖なんだ』
『しかし、これは我々中國人の間の話なんですが、日本は必ず香港をやるつていつてゐますが……』
『あなた。支那は負け癖がついてゐるから、みんな恐怖病にかかつてゐるんだよ』
アル メイダの額には 靑筋がたち、言葉も大分ぞんざいになつた。
『さうですかね』
張は面子を傷つけられたやうに口を曲げて言つた。
『だつて考へてみれば判るでせう。香港を攻めるといふことは、香港だけを攻めるといふことぢやあない。友邦アメリカが默つてそれを見殺しにすると、君は思ひますか』
『そりやあ……』
『さうでせう。とりもなほさず、國境に一發の銃聲が鳴れば、アメリカは大英帝國と協同して、日本に宣戰布告することになるのだ。フィリッピンのアメリカ東洋艦隊が、マニラの麾下の航空隊が、忽ち日本を挾擊することになるんですよ。日本の南支軍も、それこそ哀れな孤兒になるのだ。君ばかりぢやあない。中國の人は、香港がわが英國の孤兒の如く考へてゐるが、孤兒になるのは香港でなくてあべこべに、日本が占領してゐる廣東、海南島、それに臺灣だといふことを知らないんだ。それを知つてゐるものは恐らく日本の當局だ。ところが、さういふ奮鬪をしてまでするだけの力が現在の日本にあるだらうか。私はないと斷言する。何となれば、日本は君たちとまる四年半戰つて國力をうんと消耗してゐる、物資の窮乏は底をついた模樣だ。これは常識的だが公論なのだ。が張君。私は今斷じて日本はやらないと云つたが、日米會談に關する限り、君のいふ通り、交渉は決裂すると見るね。だから、英國はすでにその準備を整へてゐるぢやあないか。二三日前の大公報に、プリンス・オブ・ウエルズとレパルスの二艦が堂々と新嘉坡に入港したといふ記事が載つてゐたらう。君は、牛を買つてなほ牛乳を得んと欲するも能はずといふ英國の諺を知つてゐるかね。兩股はかけられないといふことさ。日本は中國と戰つて牛を貰り、英國と戰つて乳が欲しいと云つたつて、そりやあ駄目だよ』
アルメイダは得意さうに鼻を鳴らした。

新刊紹介
▲ジヤワ日記（三澤靜之助著）既著『亞熱帶風な思念』以後に新聞雜誌に書いたものに、書下しのジヤワ風俗事情を纏めたもの（二円　東京大日本・出版株式會社）

冬の健康に　かぜ引かぬよう
健康防衛の第一線　皮膚や呼吸器粘膜の強化に缺かさず……
ハリバ

花の様な
肌美が寒に負けずに活き〳〵と開きます
お肌の榮養に　アイデアル　クリーム
五百番　コールド
京　高橋東洋堂

結核を根絶せよ
肺結核・肺浸潤・肺門・肺尖・肋膜炎とはそれ〴〵どんな病氣であるか、どうすれば早く治せるか、どうすれば再發しないか、正しい療生法はどうすればよいのか、どんな食物を選ぶべきか、恢復期の注意等に就て、結核患者の絶對見逃せぬ大切な有益な左記の『治療參考書』を二冊無料にて差上げます。
A 治驗例の數々
B 正しい家庭療法
C 新生……
治療參考書無代送呈
（申込先）大阪市港區石田在屋町二ノ百五　角田本家　角田正直　電話築港二一九七番

月やくとゞこうりお困りの方や御心配の人
…にサワリなく安全に早くヨクキク新藥の專門藥あり　御越しか御手紙下さい　ヒミツに知す
愛知縣豐橋市公會堂前電車通り　中尾家

丸久式製粉機
丸久製粉機
用途　米、小麥、ソバ其他一般穀類、製粉鑛石、陶土、木炭、タドン原料、ソース原料、肥料の米、糠、高粱、飼料、藥料、醬油釀造原料、製飴其他一般製粉用、調味料、味噌シャム等ノ混合に最適なり
十馬力用　一馬力用　五馬力用　半馬力用　二馬力用　足踏用　其他各種有
丸久 手廻製粉機
動力用に同じく各種原料に應用して能率石臼の五倍　大規模大量製作により可能廉價提供
（カタログ希望　郵便切手）
大阪市東成區東小橋町電停前（元造販）久保田工業所

內科專門
普通病室　傳染病室　呼吸器病室　完備
京城府西小門町四七
田中丸病院
院長　醫博　田中龍均
副院長　醫師　平木寛行
電話　光③　二四二三・八八五

健康で御奉公
病苦治療の專門藥ベルツ丸は凡ての病苦性疾患によく適應しますから本劑を服用し無病健康になられるやうお奬め致します。
キキメで評判の　ベルツ丸
本舗　東京　鈴木日本製藥社
壹圓・五圓　十圓・二十圓　三十圓　各藥店にあり

皮膚泌尿　性病科　醫學博士　渡邊晋　電本六八九四

訂正公告　本月五日本紙廣告大日本製糖株式會社第九拾回決算報告中 [illegible] 右訂正ス

假處分申出公告
本籍 京都市伏見區深草北新町六三八番地　最後ノ住所 京都市伏見區深草北中ノ島町二番地ノ二　[illegible]

長谷川一夫　入江たか子　山根壽子
おもかげの街
溜息の出るやうな美しい三人の主役！人情の世界に心をくだく！
絶讃上映中！

佐分利信　水戸光子　千代（舞台名 赤木蘭子）
新鋭 瑞穗春海 監督
流麗巧緻！『暖流』『櫻の國』に續いてあがる大船女性映畫の凱歌！
女の手
十六日封切
明治座　若草劇場　東寶

增せよ生産　愛せよ資源
齋藤酒造合名會社
豐國製粉株式會社
豐國製菓株式會社

明日限り
本年掉尾を飾る！
寶塚歌劇
此の企劃、此の素晴らしさ、もう御覽になりましたか　百口を揃へての激讃
國民劇　望樓の決死隊　十二景
グランドショウ　東洋舞踊集　十三景
寶塚ショウ　愛國の花　十景
晝夜連續（入替ナシ）十二時半開演　夜の部六時二十分
十五日マデ
京城寶塚劇場

高田稔　竹久千惠子　藤田進
妻の幸福
十四日　十六日
レイモン・コルディ　アンリ・マルシャン　ルラロ・フランス
自由の青空
家庭の幸福とは！眞の人生の悦とは世の女性に捧ぐことも本映畫を世の男性に贈る
固く結ばれた二人の若き情熱が燃え上る希望か
大陸劇場

性病　皮膚泌尿　自后四時　夜間診療　長橋町四九　厚生醫院
齒科一般及レントゲン科　クロダ齒科　本町一旭ビル二階
犬の病院　岡崎町三ノ十番地　山田家畜病院（電東一〇三二）
旭町一丁目一八八　衣笠產婦人科　醫學博士 衣笠茂　電本5912
古本　高價買入　電報參上　金剛堂書店　京城明治町　電本三三二七番
女醫　西大門醫院　電光五五四番
債券金融最高峯
京日案內廣告の御申込は京日案內係に
ピアノ　オルガン　全調律　修繕　買賣　京城府本町二丁目　電本〇〇四五番
古着　洋服・吳服・日用品・飛切高價買入　本町二丁目　古着商

京日案內

種別	一件一回税込
一號型（三行）	金參圓參拾錢
二號型（五行）	金五圓五拾錢
三號型（十行）	金拾壹圓
求職一號型	毎回 壹圓六拾五錢
姓名在社料	毎回 [illegible]

姓名在社の御照會は午前九時より午後五時まで廣告部へ御問合せの事

一號型（三行）
女子 給料五拾圓內外年齢二十歳以上の內地人女店員　京城本町四丁目三四　石井
寫眞 技術修業及び出張撮影に經驗者　中野寫眞館
給仕 採用 年齢十六、七歳 身元確實なる者　[illegible]
悲愴 蓄音機十二枚ラジオ一ヴァイオリン一新品同樣　[illegible]
ピアノ 八十八鍵一台 [illegible]
生後間もなき女兒を [illegible]
電話 買入たし [illegible]

二號型（五行）
タイピスト採用　[illegible]
タイピスト一名募集　[illegible]

三號型（十行）
女交換手　女子事務員 [illegible]
求貸事務室　總務課
貸家を求む　日蓄工業株式會社

明治座　九日より上映時間表　ニュース　慈悲心鳥　おもかげの街
城南劇場　十四日ヨリ十六日マデ　日本ニュース　文化映畫　朋友　ハーモニカ小僧　ヴァリエテの乙女
中央劇場　十四日ヨリ十六日マデ　日本ニュース　文化映畫　女の街　白き處女地
若劇　十二月九日より上映時間　日本ニュース　慈悲心鳥　おもかげの街
喜樂館　十二月十四日　日本ニュース　文化映畫　新妻鏡
音花映畫劇場　十一日―十五日　1 猟犬　2 野球の妙技　3 ホームグラフ　4 式根島風土記　5 植物感應現象　日本ニュース
京日寶塚花劇場　十三日より四日間　大兵童子大會　海底をのぞく　日本ニュース
朝日座　十五日より四日間　笑ひの大進軍　京のまんざい
東洋劇場　劇團星群公演　十二月十一日より　〝家族〟
新富座　十四日ヨリ（三日間）　ニュース　西陣　變化騷動　黄金道中
桃花劇場　十一日ヨリ三日間　日本ニュース　揚子江　空征かば
浪花館　十日ヨリ　ニュース　青空は舞ふ　奇傑黑鷲
大陸劇場　十四日ヨリ十六日マデ　日本ニュース　紙の家　妻の素顏　自由の青空
京劇　九日より　日本ニュース　養魚田　愛國の花
城寶　本年掉尾を飾る　城寶樂劇隊　望樓の決死隊　東洋舞踊集
和信映畫館　十日より十六日まで　日本ニュース　女學生と兵隊